

CASBEE 広島 2016年版

(仮称)エールヴィータ矢賀新町

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目	実施設計段階						
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境					0.40		
1 音環境			3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音			3.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能		T-2サンを採用	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音			3.0	-	-	-	
2 溫熱環境			2.0	0.35	4.0	1.00	3.7
2.1 室温制御			3.0	0.50	4.0	1.00	
1 室温		断熱性能に配慮している	3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能			3.0	0.38	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性			-	-	-	-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境			2.3	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用			1.8	0.30	4.6	0.35	
1 昼光率		開口ができるかぎり大きくとっている	1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		建物が東向きで南面にも窓を設置	3.0	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策			2.0	0.30	3.0	0.35	
1 昼光制御			2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度			3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.29	
4 空気質環境			3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		仕上材は接着剤等も含めF☆☆☆☆	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気			3.0	0.40	2.3	0.38	
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			3.0	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理			-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2 喫煙の制御			-	-	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.4
1 機能性			3.6	0.40	4.2	1.00	4.1
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		ブロードバンド対応インターネット設置	3.0	1.00	-	-	
3 パリアフリー計画			4.0	0.30	3.0	0.40	
1.2 心理性・快適性			4.0	-	3.0	0.50	
1 広さ感・景観			-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3 内装計画		材料・照明を計画的に設置	4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理			4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		外壁タイルを接着貼り工法を採用	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃性の良い材料を多く採用	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.8	0.30	-	-	
1 車体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		2.6	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり	階高を2,900mm以上としている	3.0	-	4.0	0.60	
1 階高のゆとり		3.0	-	2.0	0.40	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.50	
3.2 荷重のゆとり						
3.3 設備の更新性		2.6	1.00		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		1.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	道路面に植栽を配置している	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ等級5取得	4.0	0.20		-	4.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] : 0.86	4.8	0.50		-	4.8
4 効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価						
4.1 モニタリング		3.0	-		-	
4.2 運用管理体制		3.0	-		-	
集合住宅の評価						
4.1 モニタリング		3.0	1.00		-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
3.0	0.50		-		-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水	節水型水栓及び節水型便器採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.2	0.60		-	3.2
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材を容易に分けることができる	4.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.9	0.20		-	2.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まないものを1品以上使用	4.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		2.5	0.70		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50		-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2を低減する材料などを採用	4.6	0.33		-	4.6
2 地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制	渋滞を招かない駐車方式を採用	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	1.00		-	
2 振動		-	-		-	
3 悪臭		-	-		-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制		1.0	-		-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制	光害対策ガイドラインの過半をクリア	4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70		-	
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	